

2-2. コロナ禍の学校での業務について(81)

国公立	小学校	子どもたちが安全に安心して来られる環境を作るべき。現状はいつかかってもおかしくないという綱渡りな気持ちで出勤している。
私立	高校	全員が教室に揃うという前提が崩れたので、連絡したいことが伝わらない。個別の対応、連絡に時間を取られている。
国公立	中学校	オンライン授業と通常授業のハイブリッドや、陽性者が出たときの対応など、カオスな状況、休日も臨時休校の家庭電話連絡で、呼び出されます。自宅待機の期間が変わると晩の7時に教育委員会から連絡が入り、今から家庭連絡せよと、命令されます。働き方改革?どこ?という実態
国公立	小学校	一人でも教員が抜けた時の負担が重すぎます。余裕のある人員配置が必要です。
国公立	中学校	オンライン授業が可能になったために、職員に陽性者が出てオンライン授業を希望される。職員を守って欲しい。特別支援学級を担任しているのだが、交流の機会がなくなり、それぞれのカリキュラムの生徒を一度に大勢見ている。登校できたら花丸の生徒と高校受験を目指して1日学習する生徒が同じ教室で過ごす。互いの生徒のストレスが溜まっている。
国公立	高校	オンライン授業と対面授業のハイブリッドを求められるが、勤務時間に準備時間が与えられていない。オンライン授業は授業時数としてカウントできないため、現在の感染状況においても、基本は対面授業を行っている。 オンライン授業については、各教育委員会の指導主事や文部科学省が標準レベルの映像授業を用意し、各学校の教員はそれを個別にフォローしていくなど役割分担を明確にすべき。あれもこれもは無理。
国公立	中学校	何もかも現場に丸投げで、その為の人材確保はしてくれません。定時を過ぎてからの教室の消毒や何件もの家庭訪問・電話連絡。パンク寸前です。
私立	その他	行政が学校を止めないと、こっちも止めにくい。 私立も、公立に準ずるから、まずは公立学校を止めてほしいです。
国公立	高校	教員の数が減らされているので、在籍生徒1000人でも養護教諭1人とか(大阪特有の事情)。府議会で問題にしてもらったが、1人だけの養護教員では生徒の健康管理の役割を、このコロナ禍で全然果たせていない。発熱者の早退を促すだけ。代わりに教頭(や管理職)が情報収集に走り回っているが、府教委の方針か彼らの希望か、なんとかして学校を休校にしない方針で、生徒たちの声は全然聞こえてこない。(聞こえてこないが、オンラインにしてほしいと生徒間では言っている)
国公立	小学校	消毒にどれくらいの意味があるのか
国公立	小学校	普段から職員の人数がギリギリだから、1人休んだら大変。 家族の発熱でも休まなくてはいけないから 本当に人が足りない 児童を下校させて休憩もなく、トイレ掃除。勤務終了まで残り30分だが休憩もとれず、事務作業。それでも終わらずサービス残業。それが毎日です。

国公立	小学校	<p>○ハイブリッド授業や、zoomを使った行事開催など、様々なICT技術を教育活動に取り入れてきているが、全て担任や教務がやらねばならず、通常の教育業務以外の仕事が一気に増えた。ICT補助教員がいるにはいるが、数校かけもちで週に1回来るだけなので、ニーズに対して全く足りていない。ICT専門の職員を増やすべき。</p> <p>○私のクラスは支援級の子も合わせて現在41名いる。教室が超過密。給食の配膳は教室でできず、配膳台を廊下に出し、廊下で配膳を行っている。感染予防対策を言うなら、少人数学級を実現しなければならない。子どもたちは超過密の中で感染予防をかなりよく頑張っている。どんなに頑張っても、物理的にソーシャルディスタンスが取れない。全学年、早急に少人数学級を実現してほしい。</p> <p>○養護教諭や管理職の負担が大きすぎる。陽性者が出るたびに対応せねばならず、オミクロンが急速に広がってからは土日も出勤している。養護教諭の複数配置の、児童数規定を緩和して、私の学校規模(700人台)でも2人体制にできないか。養護教諭や教頭、教務は、代替者が全くいないため、激務の中で「倒れられない」と精神的にも追い詰められていると思う。</p> <p>○私の学校では、コロナ禍でも持続可能な行事の在り方などを考え、実践してきており、従来の教育活動に比べると無駄な取り組みなどを減らし、かなり精選してきていると思う。しかし、校内研究や研修など、国や県からおりてくるものについては削ることができず、なぜこの忙しいときにこんなことをしなければいけないのかと、疑問を感じる。校内研究や各種研修(初任研、若年層研、中堅研など)の負担は非常に大きい。緩和してほしい。</p>
国公立	小学校	子どもたちを守ろうという視点よりも、学校から出していないことをアピールしようという視点。感染者が出たかどうかすら一切隠蔽。
国公立	小学校	<p>学びの確保という名で、オンライン授業を市から保護者に手紙を配布されて、休憩時間なしで、感染者や濃厚接触者にタブレットを毎日数件も、届けならず、教員の感染リスクは考えられていない。</p> <p>また、オンライン授業と対面授業を同じようにやることで、教員の負担はかなり多い。</p> <p>療養中の教師にも、自宅からオンライン授業をするように管理職は指示した。コロナ禍で、教師の人権は無視されている。</p>
国公立	小学校	教員だけで全ての業務をやるのは厳しい。
国公立	小学校	<p>通常通りの計画をコロナ対応にしたり、いくつかのパターンを考えたりしなくてはいけなくなったから大変。</p> <p>マスクが苦手な子に対する周りの子たちの目が厳しくなり、その対応が大変。</p>
国公立	高校	<p>文科省が休業5日程度と通知なのに大阪府は3日で解除。管理職が濃厚接触者調査を狭めたり、府教委への陽性者報告時刻を遅い時間に遅らせるなど、都合重視の行動をし感染拡大。多動性・衝動性が強く、思考判断力の弱い生徒も多い学校では黙食の徹底などできない。密集感染拡大空間に集合させる事が重視される政策が、理解不能。</p> <p>本校は閉鎖になればオンライン授業に切り替わるのでホッとする。出席者向け対面授業と欠席者向け配信の両方が毎時要求されているので、オンラインでも配信できる事を基調に考えるようになった。ならば、登校させずにオンラインの方が良い。</p>
国公立	中学校	慢性的な教員不足と課外業務の多さ

国公立	小学校	<p>保護者に状況をききとり、座席や行動記録表の作成、オンライン授業の手配、全て担任ひとりがかかります。それを副校長が集約するので、副校長の業務も逼迫しています。</p> <p>職員が出勤できなくなれば、校長も担任の代わりにしています。</p> <p>職員が陽性になるだけでなく、子育て中の教員は、子どもの保育園が休園になれば出勤できません。</p> <p>不安などから、攻撃的になったり協力してくれない保護者もいるので、その対応も同時にします。</p> <p>感染状況により、卒業式練習なども進みません。子どもたちは突然何かできるようになるわけではありません。段階を踏んで、経験を積ませ、その集大成で、成功経験を持たせてあげたいのに、何もできません。子どもたちには我慢を強いるだけで、いい経験をさせてあげられません。子どもたちはどうせコロナでやれないんだろ、と、どんどんやさぐれてしまいます。</p>
国公立	小学校	<p>自宅待機の教員が増えて、対応に追われている。ハイブリッドでオンライン授業をすると教室にいる子どもが後回しになる。</p>
国公立	小学校	<p>報告をしなければならない管理職は休日も関係なく仕事している。閉鎖になったクラスの担任も健康観察に追われている。</p>
国公立	中学校	<p>元々人手不足のため、濃厚接触者などで1人休むと、ほとんど業務が回らなくなる、その人が帰ってくるまで、自分が体調不良になっても薬で誤魔化して出勤するしかなく、一次は何人か薬で誤魔化している先生がいました。一人暮らしの若い教員だけで(家族濃厚接触などにならない)回すのは本当に大変です。オンライン授業とリアル授業が常に並行しているのも大変。オンラインの生徒に声をかけながら、リアルの生徒も見て回らなければいけない。1人じゃ無理。</p>
国公立	中学校	<p>行事の提案を複数考えなくてはならない。また、入試を控えた生徒への対応が難しい。</p>
国公立	小学校	<p>現在、臨時講師の先生が見つからず、教務が代行するなど、学校現場は大変です。</p> <p>またコロナが追い討ちをかけ、先生出勤できなくなるとその穴埋めで、多忙化に拍車をかけています。</p> <p>教職員定数をもっともっと増やして現場にゆとりがほしいです。</p> <p>安倍政権の時の免許更新の愚策で免許を更新されなかった先生が講師ができません。教師不足の今、復活できるシステムを是非とも作ってください。</p> <p>また支援学級の児童の学級定数ですが、現在9人以上で2クラスになります。7.8人の場合、私の市町では加配が年間630時間ついていました。加配は児童の学習に責任を持ってかわり、担任をサポートしてきました。</p> <p>ところが、4月より6人まで枠が広がるかわりに教諭ではなく、免許を持たなくてもよい支援員が担当する事になりました。保護者は人数が拡大されたと思われるでしょうが、実際それで、児童の教育に責任を持っているといえるのでしょうか？支援学級のニーズが高まる昨今、現場の実態を是非とももっと調べて教師を配置して欲しいです。</p>
国公立	小学校	<p>小学校の低学年だと、マスクを外してしまっていたり、鼻が隠れていなかったりして、マスクの着用が完全ではないと感じます。黙食の徹底の大変です。注意することも増えています。</p>
国公立	中学校	<p>学級閉鎖中の電話。メールでいいのに、いちいち電話。しかも、勤務時間外。</p>
国公立	中学校	<p>現在、濃厚接触者の特定などは現場に丸投げです。欠席者のためへのオンライン授業の準備・配信も1月末頃からかなり増えており、負担は増える一方です。感染が不安で学校に来れない生徒もいます。定期的に声かけは実施していますが、全員への十分なケアはできていません。手一杯です。</p> <p>5教科はICT機器を用いての授業で賄える部分も多いですが、4科は無理です。出席停止の生徒とそうでない生徒でかなり差が開いています。</p> <p>休校にしてもしなくてもクレームは入るものですが、このまま目を瞑るような学校生活を続けていいのか、疑問です。</p>
国公立	小学校	<p>子供が楽しく過ごしているのに、密や触れ合うことを禁止しなくてはならないことに胸を痛めます。個人的にはもうインフルエンザと同じにしてほしい。手が回りません</p>
国公立	中学校	<p>行事の中止や給食の黙食など、子どもたちが、ストレスをかかえています。</p>

国公立	小学校	担任が数名いなくなると、そのクラスの授業に入らなければならないため、空き時間がなくなり、自分のクラスのノートチェックや丸付けなどに時間を取れなくなる。また、放課後はオンライン授業を受ける児童への対応がある。実際にやってみて、正直過労死するかと思った。
国公立	小学校	ぎゅうぎゅう詰めの教室内で、窓を5cmほどずつ開けることになっているが、寒いとクレーム。その対応を放課後にしなければいけない。 ある子は登校後の午前中に発熱して陽性になった。その後同じクラスから5人の陽性者が出た。1人陽性者が出ると、座席表やその子の行動履歴などの書類作成をしなければいけない。 急な閉鎖になると、オンライン学習のために、4クラスの全児童にタブレット端末を教師が届けに回ることもあった。 放課後は、次亜塩素酸で児童机や椅子、ドアを担当が拭いている。
国公立	小学校	子どもたちにマスクをさせるのが辛い意味がないとわかってるのに ガイドラインのせいでやめれない。ガイドラインを変えてほしい
国公立	小学校	保護者、児童への対応、新しく始まったオンライン授業など、全て現場に丸投げです。働き方改革とは名ばかりで、義用務は増える一方。定額働かせ放題の、ブラック企業です。
国公立	小学校	管理職が非協力
国公立	小学校	子どもの感染対策については通達もあり、費用も出るが、教職員の感染対策については何もない。職員室が密。透明アクリル板を設置してほしい。弾力的に在宅勤務、リモートワークを認めてほしい。
国公立	特別支援学校	感染症対策をするほどに、子ども達の学びの時間が減らされています。幸いにも私の勤務校は、子どもの1年は大人の10倍以上の価値があると分かっている管理職なので行事はなるべく開催してくれていますが、これをチャンスとばかりに行事ゼロの場所もあります。可哀想すぎます。
国公立	中学校	新しいことをするなら何かをなくしてもらわないとただの足し算方式で仕事が増えます。さらに人員を増やすなどの対策があつていいと思います。オンライン授業と言いますが生徒の実態はまあまあひどいですよ。
国公立	中学校	レベル2になった時の検温チェックが大変。朝早くから対応しないとイケない。
国公立	中学校	給特法により行政側は、どんなことを業務として教員にやらせても費用が抑えられるからやらせても良いと思っているので、子どものことは業務にして次々やらせて費用を浮かせているようにしか考えられない。
国公立	小学校	消毒などの業務が増えた分、職員を派遣したり、臨時の雇用をしたりした自治体と、そうでない自治体とがあり、格差がある。国が責任を持ち、予算をつけて対応するべきだと思う。
国公立	中学校	この時期に教員夫婦で感染してしまい、お互いに話したのは成績処理です。3年生にはこの時期に成績を確定しなくてはいけないことと、家ではそのような作業ができないことがとても不安になりました。来週復帰後に直ぐに成績業務をしますが…また、入試の大事な時期ということもネックでした。
国公立	中学校	消毒業務、感染対策による校則の見直し、生徒の欠席連絡の対応(コロナ関連の公欠になるのか欠席になるのかの判断)、保護者からのコロナ対策などへのクレーム対応、地区によって行っている対策が違う(歌唱の授業の持ち方など)、オンライン授業を行うためのリハーサル、生徒の活動が制限されるため日々出来ることを模索しては感染の予防のため却下される、様々な活動したい生徒とそれが出来ない現状との板挟み、コロナ欠席の生徒のテストや成績処理の対応など
国公立	高校	途中で臨時期限付採用された場合、タイムズ等の行政系パソコンアカウントや、オンライン授業の為にICT端末で利用するアカウントが発行されるまでに時間がかかり、まともなオンライン授業など全くできない。 なぜこんなに時間がかかるのか。もう期末直前なのに。東京都のシステム、おかしいとしか思えない。そんな事もすぐに対応できないなら、人が足りてないのでは?と思う。 即増やして、すぐに使えるように対応すべき。

国公立	高校	<p>学校現場にいる者として率直に申し上げると、学級・学年閉鎖や休校の数を抑えようという神奈川県の方針は誤りです。3～5日程度の学級・学年閉鎖や休校は、陽性者が複数いるときの対応として理に適っていると思いますし、私の勤務する学校では実際に極めて有効でした。</p> <p>理由としてとくに大きいのは、濃厚接触者の登校を防げることです。現在、濃厚接触者の特定は学校に任されていますが、全員を把握するのは困難です。学年閉鎖中に何人も陽性者が現れて、そのうちの何人かは、こちらが濃厚接触者だと考えていなかった生徒だったりしました。そして、よく話を聞いてみると最初の陽性者の濃厚接触者だったりすることもあったわけです。学校は、個人情報の観点から、誰が陽性かを他の生徒に知らせることができません。陽性者への聞き取りのみで濃厚接触者を特定するため、陽性者の記憶がすべてです。でも、学校は密集地帯ですから、自分が誰と接触したかなんてよく覚えていないケースも当然あります。だから、一定期間学級・学年閉鎖や休校を挟むことは、感染拡大防止にとって非常に有益でした。</p> <p>特に高校生の場合は、閉鎖や休校によって親が就労困難になることは考えられません。家で一人で留守番できます。逆に、高校生が陽性者になれば、その親は濃厚接触者となり、勤務できなくなるわけですから、経済的なダメージはより大きくなります。</p> <p>また、現場としては、学校を開けていても濃厚接触者や感染不安の生徒が一定数いる場合、一斉授業が大変やりにくくなります。現在私の学校では、クラスの3分の1ほどが自宅待機になっている場合もあります。そうした場合の学校の対応としては、学校を開けている以上、①ハイブリット授業（一斉授業をオンラインでつないで自宅からも受けられるようにする）、②一斉授業＋自宅待機者への課題の配付、のどちらかとなります。しかし、①②ともに大変手間がかかるだけでなく、注意が分散するため授業の質が落ちます。課題を配付した以上、それを回収して評価するわけですが、それだっただけかなりの時間を要します。むしろ、学級閉鎖や学年閉鎖とすることで、オンライン授業一本に絞り、全員同じ授業を受けられるようにすることの方が、現場感覚ではずっと合理的です。そしてその場合、濃厚接触者だけでなく、陽性者でも無症状や軽症であれば授業を受けることができます！ これは大変大きなメリットです。</p> <p>以上のような理由から、コロナの流行期には、閉鎖や休校をうまく組み込んで学校をフレキシブルに運営する方が、メリットが大きいと考えています。</p>
国公立	小学校	<p>教師や管理職のの力量の差が大きく目立ってきた。</p> <p>この2年間のコロナ禍で、子供達のために何が出来るか考えてすすんで決断し、実行できる人と、何もしない人とに分かれてきた。働かない人のフォローを働く人がしている現状が本当にしんどい。</p>
国公立	中学校	<p>本来保健所の業務である仕事内容を教師が行うこと。中学生だからまだマシかもしれないが、密になって過ごす時間(休み時間など)があり、コロナ対策に限界を感じる。コロナ不安で欠席したり、体調不良で欠席したりと、クラスの3分の1かそれ以上がいない状態での授業に意味があるのか疑問であること。今こそ休校かオンライン授業、登校選択制をするべきなのに。</p>
国公立	中学校	<p>コロナに罹った人を労らず、迷惑かける人、感染させる人という日本の雰囲気、生徒を萎縮させる。芸能人がコロナに感染した時に謝罪することをやめてもらいたい。病人は罪人ではない。アメリカのように、先生が病気で休んだら、助っ人先生が来るシステムを導入すべき、休むと代わりがないシステムがおかしい</p>
国公立	小学校	<p>日々のオンライン授業。休んだ子にタブレットを届けに行って…。ここまでする必要はあるのかと思う</p>
国公立	小学校	<p>検温を担当がやる。消毒は接触感染ほぼないのに毎日やる。オンライン授業時に子供職員への端末の貸し出し準備片付け。オンライン授業受けている子の分の教材をやり終えることができるか。感染を危惧するために精神不安定な子が増えて、毎日慰める。マスクしたまま体育。音楽は進められない。臨時休校を備えて授業は巻きでやる。そうなると低学力の子はついていけない。</p>
国公立	小学校	<p>アップデートされない情報に基づき不必要な過剰な消毒作業、アクリル板設置。校外学習のための交通費負担が、密を避けるため倍増し保護者への集金が増えている。補助金支給が必要。</p>

国公立	中学校	確実に不登校生徒が増えている。先行きが見通せない生活のため、子どもたちも不安を抱えており、メンタルが安定しない。マスク生活は相手の顔が見られないので、人間関係を築く上で難しい。
国公立	高校	家族が濃厚接触者なので学校を休むのは致し方ないのですが、その間学校を休んだ生徒が特に問題なしとなって学校に来たとき、授業がかなり先に進んでいて大変だという声を聞きます。オンライン授業の教材準備はできていますが、学校から貸与されるPCにカメラが内蔵されておらず、Wi-Fiにも繋げない仕様になっているため、クラスの様子や黒板の板書を見ることができません。岩手県の盛岡第四高校です。
国公立	小学校	コロナ禍において、健康観察や欠席児童へのサポートなどの業務は増えた。しかし、あまり必要性を感じない校外出張がオンライン会議に切り替わり、これまで学習の進度を圧迫していた学校行事などが無くなったため、忙しさは以前と変わらないように思う。コロナ禍でむしろこれまでの業務についての精査ができたと感じているが、コロナが収まったらまた元に戻ってしまうのではないかと心配している。
国公立	小学校	子ども達の活動保証。自由に触れ合って遊んだり、体験的活動をしたりすることが制限されるのに、未履修は回避せよと命令が下る。非常時でも学力向上や学習内容を完遂することを優先する現場に矛盾を感じます。
国公立	特別支援学校	学校ではできる感染対策はもうやっている。これ以上できることはない。子どもの学習の機会を保証することは大切だが、子どもたちと教職員の健康を守ることも大事。感染拡大する前に、1～2週間程度の休校(オンライン授業)が必要。現状は周囲に感染者が出てきてもら働き続けなければならない。優先してワクチン接種もできない。学校を止めないのであれば、教職員にも優先してワクチン接種をするべき。コロナ対策に限らず、教職員の労働環境や条件をもっと考えて欲しい。仕事は増えるばかりで人や予算は増えない。
国公立	小学校	①非常事態で皆んな初めての出来事。どう対応するのか、手探りで時間がかかる。即断即決できない。他校との足並みを揃えたがる。調整が手間。 ②文科省や自治体から明確な通知がこない。原則〇〇はさける、のような曖昧な言い回しであとは学校に丸投げが多い。 ③感染状況によって二転三転する行事の準備。決まったことがすぐに覆される。
国公立	高校	正規教員の人数が足りない
国公立	小学校	とにかく教員を増やしてほしい、更に1学級の人数を30人にしてほしい
国公立	特別支援学校	消毒作業は業者に外部委託できるとよい。
国公立	特別支援学校	人材不足による人手不足
国公立	特別支援学校	私の勤務校ではまだオンライン授業は実施されてはいませんが、実際に対応せざるを得なくなった場合、準備にかかる負担が非常に大きいと思われる。特に、聾学校の場合、字幕や資料の提示など、かなりの負担が予想される。職員全員がオンライン授業に慣れているわけではない。
国公立	小学校	学校行事がなくなって、子ども同士のふれあい、交流が激減しており、子どもたちがバラバラになった感じがする。教職員もそれぞれ頑張ってるが、交流できず、孤独感にさいなまれている感がある。給食職員が、急な学級閉鎖などの対応で、てんてこまいしている。
国公立	小学校	黙食やマスクなど意味のない感染対策をすることが多く、子どもに我慢させることが辛かった。
国公立	小学校	オンライン授業を国で共通化してほしい。それぞれの教師が授業するのは負担が大きすぎる。

国公立	特別支援学校	コロナ禍ということで、一気にオンライン授業の準備が進み、一人一台タブレット端末が配布された。しかし特別支援学校で、タブレット端末を子どもたちに渡してオンライン授業など、子どもの発達段階から考えても到底できず、現実的には本当に厳しい。けれども配布されたタブレット端末を使うように言われ、3カ年計画でプランまで作られた。今年情報の分掌を担当することになったのだが、これまでより多忙となり、タブレット端末の管理や機器の更新、保護者へ渡すプリントづくりなどで、夜21時まで残業することもしばしばだ。それよりも、濃厚接触者が多くなり人手不足になっている現状を考えると、もっと教員を増やしてほしい。
国公立	特別支援学校	消毒業務は日々積み重なると膨大な時間です。コロナ禍が終わっても感染症対策で今後も継続するなら、きちんと清掃、消毒人員配置してほしいです。
国公立	中学校	平時から多忙であり、業務に余裕なんて無い。そのため、体調不良の教員が出た際の穴埋めは家庭や個人の時間を犠牲にしないとできない。
国公立	特別支援学校	特殊な環境(病院内)なので、絶対子供にうつせない緊張感がある。
国公立	小学校	オンライン授業が出席と認められないことで、出席簿上は出席停止や非常変災といった欠席にならない項目で処理し、オンライン特例授業日数を別に通知表や指導要録に記載しなければならないこと。国が推奨して、税金で一人一台タブレットが整備されたのに、出席と認めないのはおかしいのでは？確かに学校に来ていない事変わらないが、学校にいる児童に準じる教育水準は確保している。
国公立	小学校	教員等職員の欠勤による学級・学年・学校閉鎖の参照基準がなく、校長による恣意的な判断がおきている
私立	高校	管理職は「生徒への配慮」ばかり口にし(それは保護者向けのパフォーマンスなだけかもしれないが)、「教員への配慮」が全く無い。例えば、生徒は感染不安で欠席するという選択肢があるが(その欠席は「公欠」なり、欠席日数にはカウントされない)、教員には対面授業かオンライン授業かの選択肢も無い。
国公立	小学校	人員不足
国公立	高校	消毒作業など徹底しているが、いつまでこれを続けるのか。すべきことが増える一方で減るものがなく、負担感が大きい。
私立	その他	コロナ出初めの頃、安倍元総理が、学校を3か月休みにしたのは、子どもも親も、教員も困った！いまだに弊害が出てる！悪夢の安倍政権だった。
国公立	小学校	管理職の危機感がすごく弱く、感染防止対策がいい加減なことが不安でたまらないので、担当クラスだけはなんとか頑張ろうとしている。不織布マスクの件を保護者にも伝えるべきと言えば、それは各家庭がニュースを見て考えること、学校からは言わないと言われた。東アジアの米軍基地のある市だが、元々市長や教育委員会も同じような考え方だと思える。テレビで感染防止対策で多忙な学校を見るたびに、逆にこれでいいのかと心が痛む。
国公立	中学校	40人学級でソーシャルディスタンス、密を避けるは難しく感じる。
国公立	特別支援学校	疫学調査の資料作りは教員の仕事では無いと思う。検体の回収～提出を勤務時間関係なく教員がしてるってどういうこと？仕事の範疇をこえている。普通の会議、研修に加えてトップダウンで指示が降りてきて急な対応になることが多い。事前に計画していることでも上から中止と言われたらそれまでなのは納得いかない。何のための計画？何のためのシラバス？調理実習がだめなら摂食指導もだめでしょう？午前のみ授業で給食なしで帰るのがOKなのであれば納得もできる。午前で子どもたちが帰っていれば、校内の消毒作業も徹底してできるし、会議や研修も密にならないように分散して実施できる。密にならないように、というのが教室の数は足りないし、広さも十分でない。それに加えて、授業参観はしろというし、どうしたいのかよくわからない。休校や学級閉鎖、学年閉鎖になると授業の補填をしているのか上が聞いてくるが、こんな状況で無理に補填する必要あるのか。子どもも休み、教員もいない状況で回ると思ってるのか。
国公立	中学校	部活や行事が縮小、または中止と、なり、その分はほんとうに仕事が減った。それでも、なお、時間内では終わらない業務、ころなのせいかは分からないが、不安定な生徒が増え、個別対応の多さは年々増加。

国公立	高校	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の通信インフラが整っていない。 ・生徒はスマホでオンライン授業に参加している。タブレットなど配布してほしい。 ・学校の通信インフラがまだ整っていないため、オンライン授業が通信不良になることがある。早急に改善してもらいたい。 ・オンライン授業と教室のハイブリッド型の授業を行うこととなり、出席確認に時間がかかり、授業時間が減る。また、授業の難度が上がっている。(スライド中心の授業になったり、使える黒板の領域が少なくなったり、OneNote等を新たに活用するのに勉強し直したりなど。) ・生徒のオンライン参加は認められているが、感染が怖い教員のオンライン参加(自宅勤務)は学校から許可されていない。 ・オンラインで授業参加する生徒の心と体の体力が下がっている。 オンライン授業中は飲み食いしている生徒が多いよう。また、寝ていても教員は起こせない。そのせいか、久しぶりに登校した生徒は1日でとても疲れている。 ・生徒の学力が低下している。 ・行事がないため、組織を学ぶことができていない。また、クラスメイトとの距離が縮まっていない生徒もいる。
国公立	小学校	<p>陽性者が出たときの報告書作りや、行事の変更に伴う実施案の作り直しなどは、コロナになってから増えた新たな業務だが、減った行事が多く、それに伴う仕事がなくなったため、業務量が増えたとは思わない。</p> <p>減った仕事は、例えば、学校公開の授業を1時間録画するだけになったため、数日分の公開授業をするより楽になった。</p> <p>子どものマスク着用を徹底することや、体育の時にマスクを外して話させないことを徹底することは難しく、ソーシャルディスタンスをとれる座席配置が求められる。少人数学級で実現できるようにお願いしたい。</p> <p>事務作業をはじめ、消毒作業などもスクールサポートスタッフに依頼することができて、大変助かる。教員が増えることが最も望ましいが、増えるまでの間でも、このような事務を頼めるスタッフがもっと増えるといい。</p>
国公立	小学校	感染症対策と言っても、管理職の意向や発言力のある人の意見が通り、納得がいかない面がある。

3-2. 3-1で「その他」の内容(19)

国公立	高校	教員の心のケア
国公立	中学校	保育園が登園自粛となったが、自分が勤める学校は平常通りだったため、在宅勤務をお願いするのが心苦しかった。エッセンシャルワーカーではないのでもっと休業しやすいよう周知して欲しい。
私立	その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 隣のクラスのホームルーム 2 入試前の教室整備(違うクラスの) 3 オンライン授業ができない先生への手伝い 4 オンラインで、問題が起きてる家庭への連絡や相談
国公立	高校	陽性となった生徒を個別に相手にした。それ以外に早退の手続きなどで、次々とくる生徒を身近に相手にしている。自身の調子が悪いと不安になる。セオル号のように、ひっくり返って教員や生徒が亡くならないと、動けないのでしょうか。
国公立	高校	教員の陽性に対して同僚の誰も濃厚接触者とされず検査されず、他教室に授業に出向き続けて感染が拡大していく事。
国公立	小学校	公表するとイジメが起きてる学校があるので公表をする事が心配。風邪扱いしたい。
国公立	中学校	欠席した生徒への学習支援
国公立	高校	参加生徒が少ない場合の授業の進め方や欠席者への対応
国公立	小学校	オンライン授業の準備が遅れているため、欠席者の補習が不十分

国公立	中学校	保護者からの問い合わせ。誰がコロナに感染したのか公表してほしい、と言ってくる保護者もいれば、子どもが感染したことを知られたくない、と相談してこられる保護者もいる。教育委員会への報告が全て電話連絡。
国公立	高校	出席停止措置のみで何の対応もしようとしなかったこと。
国公立	高校	入試業務の多忙化 感染対策や追試験の対応で業務が多くなっているのに、教員の数は自宅待機のために減っている。
国公立	小学校	自分が濃厚接触者になった時、子どもたちに感染させていないかなど、非常に心配。
国公立	中学校	コロナ不安で欠席する生徒が続出し、学級運営や授業が困難になっても、通常通りにしようとする。
国公立	特別支援学校	日々の研修、会議の日程調整 行事などの実施内容、時程の調整 授業内容の再検討
国公立	高校	保護者への対応が特に大変。保護者によって、コロナの感染対策度合いが異なるため、学校の対応に真逆の要望があったりする。す

3-3. 学校で陽性者や濃厚接触者が出た際、たいへんだったことや対応などについて(73)

国公立	高校	自宅待機の生徒の学習が遅れることについて考えることが辛いです。
国公立	中学校	基準がコロコロかわりそのたびに家庭連絡。休日も臨時出勤を強いられる状況
国公立	小学校	休んだ子への学習の補償や他の子供たちへの説明の仕方が大変です。
国公立	中学校	長く生徒が投稿できなくなるので周囲の生徒への説明が難しかった。
国公立	高校	宮城県は消毒作業を教職員で行うのですが、これは教員の仕事ではなく、保健所や業者を入れてやるべきだと思いました。感染の恐れがあるため、臨時休業にしているのにも関わらず。
私立	その他	ご家庭に聞き取りを行い、保健室、管理職に連絡→校医の判断と保健所の判断を待ち対応 (濃厚接触者がいた場合は、その家庭全てに連絡)
国公立	高校	あまりに安全バイアスをはたらきすぎて、気を張っている中で、クラスの学級閉鎖があつたくらいで済んでいるが、実際、今次々の発熱者が増えていく中、成績を落とされないようにみんなよく学校に来ている。これ以上状況が悪化しないように蔓延防止が出ている都道府県だけでも、一斉休校にしないのか。入試や学年末の成績のこともあるからかもしれないが、課題を抱えている子も含めて全員進級させて、次の対応策を練ったほうがまし。
国公立	小学校	校長がすぐにパニックになることが大変。
国公立	小学校	○学級閉鎖等の基準が、学級内や学年内で児童の感染者が出た場合の基準となっており、学校内で教職員が何人休んだら、という基準がないため、教職員がいくら欠勤となっても、学校は通常業務を行っている。私の学校は今のところ大丈夫だが、同じ市内の学校には教職員が7人同時に休みに入ったところが2校ある。補教者が足りず、市教委から支援に入ったり、1人の教員が複数学級を見る、自宅からオンライン授業を行うなどの状況がある。こうした状況で子どもたちの安全をはかることは無理。なので、 ・教職員に欠勤が増えた場合の閉鎖の基準を示し、通常の学校運営が無理な場合は閉鎖するようにしてほしい。 ・自宅からのオンライン授業については、できない教職員も多いため、やらないことと示してほしい。 ○ただ、自宅からのオンライン授業をやっている教職員も、学校の負担を減らそうとしてやっているわけであるので、安心して休める体制が必要にもなる。教職員の数が圧倒的に足りない。コロナ禍でなくても教員の欠員が多く、管理職が担任をやるような学校もある状態が異常。
国公立	小学校	きょうだいが多い子が本人は発症していないのに、何週間も出席できなくて学習が心配
国公立	小学校	何も言えないのに、子どもたちの、保護者の質問、不安に対応しなければならないこと。また、それに割かれる労力。

国公立	小学校	濃厚接触者への聞き取り。 また、タブレット配布。
国公立	小学校	人手不足。管理職が、補教に入らない。
国公立	小学校	子どもや保護者が陽性者だと周り(地域)に分からないようにしよう、と学校全体でなったため、子どもや保護者から聞かれた場合の対応が面倒くさい。 陽性者や濃厚接触者で休む教員の穴埋めが大変。
国公立	高校	健康観察の返信が返ってこない家庭に、担任が1日に何回も連絡を試みている事。保護者に連絡した時に、公開できる情報が少なすぎて、罵倒され精神的に疲弊する事。 感染者が出た教科の教員が、一室に集められ聞き取り調査が終わるまで拘束されるという管理職の謎な指令で、危険が発生する事。 陽性者が出て休業になる度に毎朝、職員室に全員集合させられるが、これは管理職の教員の健康観察の都合上で、教員の感染リスクへの配慮はおざなりである事。
国公立	中学校	保健所が行うような聞き取り調査をさせられたこと
国公立	小学校	とにかく職員がたりません。それから、せっかくやっていた行事の準備も中止になり、子どもたちのケアにも、大人が多くいてほしいです。コロナ対応をする事務方があればありがたいのですが。前々から教員増やして！という話はしていますが、まさに今そうです。
国公立	小学校	時間外までの書類作り
国公立	中学校	教科書を学校に置いている生徒が多いので、陽性や濃厚接触などによって長欠が確定したら、一人一人の家に段ボールなどや紙袋に詰めた教科書を夕方に届けに回った。休みが10人以上になったら、おやすみメッセージ(欠席者への手紙などのポスティング)をしていたら18時になる。
国公立	中学校	数日前に遡って生徒の行動を調べること
国公立	小学校	先生出勤できなくなるとその穴埋めで、多忙化に拍車をかけています。 教職員定数をもっともっと増やして現場にゆとりがほしいです。
国公立	小学校	学習が遅れるので、そのフォローをすることや保健所の調査のための資料作り
国公立	中学校	形だけの行動履歴作成。何を書いても、どうせ濃厚接触者なしで検査なしなのに、書く必要ある？と疑問です。
国公立	小学校	対面授業をしながらオンラインも本当に大変。対面授業だけ行いたい。その理由は休校の際結局1時間未満しかオンラインができず意味をなさないし、オンラインは学校には必要がない。文科省が教材を作って配信してほしい
国公立	小学校	放課後、オンライン授業のためのタブレットを一軒一軒届けなければならなかったこと。
国公立	小学校	陽性者と同じクラスを中心に多くの児童も感染した。狭い教室に30人以上いると、必要な距離を保てない。換気も悪くなる。 順番に感染者が増えることで、学年閉鎖が延期された。
国公立	小学校	イジメが起きないように気を配る
国公立	小学校	管理職は補教にも入らず、出勤している教員で何とかさせようとしていること。負担が大きすぎる。
国公立	小学校	管理職が非協力。
国公立	小学校	コロナ関係で教職員が続々と休んでいるのに、学校は通常運営している。子どもの安全管理ができない。質の高い授業ができない。出勤している職員に莫大な負担がかかり、結局その職員が疲労で倒れたり感染したりする。
国公立	特別支援学校	濃厚接触者の隔離は無意味だとつくづく感じます。症状が出たら休む対応で十分。
国公立	中学校	仕事がまるまるふってきます。
国公立	中学校	陽性者が出る前にオンライン授業が実施できればよかったと思っている。
国公立	中学校	保護者が感染者の特定をしたがること。モラルに著しく欠ける。
国公立	中学校	今回私自身が陽性になりました。担任ですが、不登校生徒への対応をほぼ全て自分がやっていました。途中で投げやりになってしまったのではないかと生徒に思われているかが不安です。
国公立	中学校	コロナで出勤できない教員の代替

国公立	高校	先ほど申し上げたとおり、学校の判断で学級・学年閉鎖や休校を挟めるようにすべき。 抗原検査キットが現場に配付されたが、これは意味不明。 体調が悪い者はそもそも学校に来ないように指導しているし、仮に学校に来ていたとしても速やかに医療機関を受診させるので、基本的に抗原検査キットを使う場面はありえない。
国公立	小学校	教員委員会経験のある管理職によっては、現場の教員の忙しさを掴めておらず、判断が遅かったり、穴埋めの際の非協力が浮き彫りになり、信頼できないと感じることが多々できた。 人手がいなくて、担任業務は激務さを増している。
国公立	中学校	保健所への提出書類の作成や学級閉鎖の決定ができるまで待機(遅い時間まで)しなくてはならないこと。もっと簡易的にできないだろうかと思う。
国公立	中学校	こうやってアンケートをとるような、特別なことではないはず。感染したら療養して、治ったら登校するだけのこと。 マスクミ、政治家も騒ぎすぎ。
国公立	小学校	児童が感染したが、教職員は疫学調査の対象外とされた。感染した児童は特別支援学級在籍で、担任は数十cmの距離で個別学習をしているにも拘らず。
国公立	中学校	教員の人数がもともと多くないので、かなりの皺寄せがくる。休校の判断が難しい。
国公立	高校	昨年5月に三年生に陽性生徒が一人出たときは2日間学校を休校にして学校職員のみで校内の消毒を行いました。その間に其の生徒と授業で同席していた生徒および同じ部活動だった生徒のPCR検査をしてもらい、全員陰性であることが確認できたので、2日間の休校の次の日から学校は通常通り授業や部活動を行いました。
国公立	小学校	欠席した児童の学習を保障すること。
国公立	小学校	陽性者が出て、マスク着用なら検査はなし。担任さえも検査したかったら、自分でやれというのが市教委の方針だと言われた。そして本市の場合学年閉鎖となり、期間は3日間。発症日の3日前に登校していたら、閉鎖となるので、延長を余儀なくされる。 国の方針通りに五日間にしてほしい。
国公立	小学校	休校対策のためにタブレットが導入されたのに、オンライン授業に参加しない児童がいると感染者が特定されかねないとのことで見送りに。これは人権保証になっているのか学習権を逆に奪っていないか、さてはICT導入が全く無意味になっていないか、疑問だらけです。
国公立	小学校	個人的には全ての感染状況等を開示すればいいものを、自治体によっては人権保護の名目で開示しない。そのため、なぜ休校なのか？ということに対して、嘘を重ねていくことになる。
国公立	小学校	教員が自宅待機になった場合に、自宅からオンライン授業ができなかったのも、穴埋めが大変だった。また、休校か分散登校かオンライン授業かの判断基準が難しかった。
国公立	小学校	欠員がどんどん出るのに補助はいない。担任がいなくても学級の児童は来るので対応し、休んだ児童にもオンライン対応で心身ともに限界。
国公立	特別支援学校	接触のあった生徒や職員を分けなければいけないため、学習集団の数が増え、人手が多く必要で大変であった。普段から人手に余裕があればよい。
国公立	特別支援学校	保護者への連絡説明。授業補助、人手不足
国公立	特別支援学校	自分が感染していないか、自分が感染源になっていないか、不安が拭い去れない。
国公立	小学校	陽性者が出た場合、急に学級閉鎖になる時など、保護者などへの対応がたいへん。
国公立	特別支援学校	病院へ行っての授業ができなくなった
国公立	小学校	管理職が関係各所に連絡をとっており、大変そうだった。
国公立	特別支援学校	家庭待機をした職員が多く、補欠対応が大変だった。

国公立	特別支援学校	ただでさえ、教職員の数が少ないのに、1度に7名も欠勤しないといけない状態になり、勤務してる教職員の負担が増えている。また濃厚接触者の特定条件が変わるため、全員がPCR検査を受けられず、自分は雇っていないかと不安に感じる。
国公立	特別支援学校	特別支援学校ではほぼ確実に濃厚接触しているのに、濃厚接触とほぼ認定されないことに疑問を感じます。
国公立	中学校	複数人で担当している仕事が多く、また余裕がないので日頃から自分の仕事しか目がいけない状態になっているため、陽性や濃厚接触者になった教員の穴埋めができない。そのため、学年や学校運営が困難になっているのにも関わらず、短縮授業や休校などを行わず、なし崩しになったまま、学校が開かれている。
国公立	特別支援学校	みんなでフォローし合うことができ、なんとか乗り切った感じです。
国公立	小学校	その児童の行動記録シートを書くのはたいへんだと思うが、何でも屋の小学校担任という視点から見ると当たり前かも。コロナ対応だからという視点での負担という感じではない。もともとの構造的問題だと思う。
私立	高校	保健所が機能していないのか、聞き取り調査、学校医や保健室への情報提供、当該生徒への連絡など、当該生徒が学校に復帰するまでの全ての連絡を担当が行わなければならない、とても負担であった。「個々の感染状況が異なるから、対応も変わる」と管理職は言うが、もっとシステムティックに対応できないものだろうか。
国公立	小学校	担任の代わりとなって、空いた学級に授業をしに行くのが負担だった。教職員の増員が必要。
国公立	小学校	<p>○教員が濃厚接触者や陽性者になったり教員のお子さんが通う保育園で陽性者が出て預けられなくなったりして、自宅待機になる人が続出した。先々週と先週は一時は6人が自宅待機となった(そのうち担任は3人)。その穴埋めをするために専科教員などが授業のない時間に補教に入ったり、自宅待機者がしていた校務分掌の仕事を残った者でせざるを得なくなり、残っている人の負担が増した。ただでさえ仕事が終わらないのにさらに仕事が増えたので、連日帰りが遅くなった。大変でも誰も責められずみんな大変なのでつらいことを表立って言えなくなり、一時は職員室で朝泣き出してしまう同僚もいた。泣き出した同僚を怒る同僚もいた。みんな余裕がなく大変なのに管理職が大変さをわかっていなかったのも、校長先生も補教に入ってもらうように要請しやっとなってもらったが、それでも大変だった。今も3人の教員が自宅待機中。</p> <p>○自分の仕事が終わらないのに、自宅待機している教員の分の仕事をすすめなければならず、空き時間もなくなったり少なくなったりしたため、授業の準備をしようと思ったらすごく遅くまで残らないといけなくなった。家族が認知症で早く帰りたいのに通常業務以上にたくさん仕事をしなければならなかった。</p> <p>○同居者が陽性になった同僚が複数いたが、保健所に電話しても電話が繋がらず、保健所は濃厚接触者にまで電話をかけていないのに、管理職は保健所や公的機関がいつから出勤していいか指示を受けないと学校に来てはいけないという指示をしていた。公にされている基準がホームページで公開されているので、その基準で、保健所などから電話で指示を受けなくても、出勤してよいことにしてほしい。同僚は、詳しい状況は聞かれず話してもいないのに、ホームページで公開されているのより多い待機日数を保健所の人に指示されたが、どう考えてもその日数は長すぎたので、別のところに電話して確認して指示をもらうなどして、大変そうだった。待機者を待っている私たちも、待機者がいつから出勤できるかを早く知り、授業や仕事に見通しを立てたかったが、いつから出勤できるかわかるまでにすごく時間がかかっていた。</p> <p>○児童に陽性者が出た時に、教員は大丈夫なんですかという電話や、オンライン授業への苦情の電話が保護者からかかってきて、副校長が対応に追われていた。</p> <p>○一人の教員が抱えられる仕事量には限界があるので、自宅待機者が多くなったら、応援で来てくれるような余剰人員がいるといい。</p>
私立	その他	陽性者の個人情報と、人権に配慮する事
国公立	小学校	マスク無しで1m以内15分以上という定義が狭すぎて、濃厚接触者はほとんど特定されない。学級閉鎖になっても、クラスの子は検査はせず、五日たてば解除。不安でたまらない。

国公立	中学校	保健所が手一杯で陽性者や濃厚接触者の保護者の方がなかなか連絡が取れないので、学校での対応も後手になってしまう
国公立	特別支援学校	学校が疫学調査をするようになり、濃厚接触者や検査対象者がかなり減った。学校側としては、濃厚接触者や検査対象者をできるだけ出したいのは目に見えてわかるが、本当にそれで良いのか。 検査対象者となった児童生徒の自宅まで、教員が検査をしに行く。勤務時間も関係なく、土日でも。管理職は学校を開けたいのだけれど、教員の安全は誰が守るのか。 教員が休むことで、その穴埋めをする教員の負担が大きい。
国公立	中学校	高校受験を間近に控えた時点で、見なし濃厚接触となり、書類の作成や受け渡しなどの業務が増えた。
国公立	小学校	授業で行ってはいけない内容の是非(合唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカの演奏)が変わること
国公立	小学校	退勤してから自宅待機の連絡を受けたため、教科書やドリルなど、何も手元になく、翌日から学級閉鎖となる児童に向けて、自習課題を設定することが難しかった。 結局、オンラインで朝の会をする際に、子どもにドリルを見せてもらい、ページ数や内容を確認して、課題の設定をした。 突然なのは仕方ないことだが、大変だった。 濃厚接触者報告を作るため、翌日が土曜日だったが、自宅で報告書作りをした。勤務の調整は管理職にしてもらえることになったが、2歳の娘が目覚ます前に、初めての報告書作りをするのは大変だった。 自宅待機期間、娘も保育園を休ませたため(任意)、オンラインで朝の会をしたり、昼の会をしたり、職員会議に出たりする間、テレビを見せっぱなしになった。何時間も見せていて、これ以上はテレビに頼れないと思い、祖父を呼んで子どもの相手をしてもらうなどした。 子どもが家には、仕事が難しい。今回オンラインで授業をしなかったため、なんとかなったが、自宅からも授業をするよう求められたら、とてもできない。
国公立	小学校	学級閉鎖の連絡、オンライン授業の準備と実施、オンライン授業があるので、休んでいる先生のクラスに入ることができない。今までなら代替で授業に入っていました。
国公立	小学校	コロナに罹ってしまった人への配慮。 周りはコロナなのか？と聞いてくるが、それには答えられない。でも、保護者は自分の子供のクラスで出たのかとても気になっていて、その気持ちも分かる。

5-2. 学校の感染対策、子どもたちへのケアについて(61)

国公立	高校	活動が制限される状況がずっと続いています。そのため生徒の心の発達や、社会性などが遅れている気がします。幼いというか、人間性の豊かな感情がはぐくまれていないというか。これは私の主観なので、心理学や教育学の研究者の方々に調査・研究していただきたいと思っています。
国公立	中学校	給食ですら会話なし、子どもたちの関わり合う場が本当にない。感染対策とコミュニケーションをどう両立すればよいのか。合唱までできないなんて悲しいです。
国公立	中学校	一斉休校も時には必要かと考えます。
国公立	高校	行事が削減、縮小され体験的な学びを得る機会が減少している。
私立	その他	無理して登校させるのではなく。 オンラインでも十分できるような方法を整えるべき。 授業に出られなくても「大丈夫」って子供に伝えてあげるべき。 大変なときだから、大人が慌てるのではなく。 冷静になって、子供に無理しなくても大丈夫って言える雰囲気を作って欲しい。

国公立	高校	子どもたちのケアについては、皆教員として心を配っているが、1クラス40人で全員のケアなどほぼ不可能。毎日普通にケアをするには、20人くらいが限度です。多くても30人以下。
国公立	小学校	子どもたちのケアの具体的な方法も知らされずケアをしることが課題
国公立	小学校	情緒不安定になる子が多い中で、心の相談員やスクールカウンセラーがもっと必要。現在私の学校では月2回スクールカウンセラー、週2回心の相談員が来ているが、足りない。子どもだけでなく、保護者のケアも必要になっているので、予約がすぐにうまり、必要な時に必要な手立てが取れない。もっと増やしてほしい。
国公立	高校	「困っている」と表現できない子への対応に手が回らない。 対面とオンラインと両方を回していると、欠席者対応の方のオンラインには手が回りにくい。いっその事、全面オンラインになった方が、丁寧に対応できる。
国公立	中学校	手洗い徹底と言われても、冷水しか出ない現状では、生徒が手洗いを嫌がる
国公立	小学校	とにかく教員を増やしてほしい。または、コロナ対応をする事務方を。
国公立	小学校	保健所の仕事が学校に下りてくる。残業代も出ないのに。
国公立	小学校	今の子どもたちへのケアも大事だろうけれど、子どもたちを育ててきた様々な行事がなくなっていくなかで、何年か後の子どもたちにどんな影響が出るのかが本当に心配している。
国公立	中学校	中学は部活を辞めようとしませんが、どう考えても部活でクラスターが起きているなど感じる事案がいくつもある。濃厚接触者になる基準が緩まっているため、クラスター認定されないが、もうどこもマスクを取って部活をしている。放課後は休みの生徒の対応に追われているため、部活どころではないし、平日に人手不足の中働きまくったのに土日も部活で出勤しなければならず、体が壊れそう。
国公立	小学校	これ以上の感染対策は難しいと感じます。 今まで通りの授業をしたいです。
国公立	中学校	発熱など症状がない人への抗原検査は意味がないと思います。
国公立	小学校	子供たちはどんどん潔癖になったり、顔がわからない分、読み取るのが苦手になってきているように感じます。過剰な対策は良くない。ましてや休校は余波が大きすぎる
国公立	小学校	そもそも、現状のように過剰な感染対策をする必要のないウイルスにも関わらず子供達が巻き込まれていることが異常。感染対策など必要ない。 「感染するなさせるな」を合言葉に、互いが口から危険なウイルスを撒き散らすという誤った認識を植え付けられていることに危機を感じる。
国公立	小学校	市教委で廊下や手洗い場、特別教室の消毒を毎日午後からしてくださる人の派遣があるので助かります。 隣とディスタンスを取る必要がある今となって、教室の狭さやークラスの児童数の多さを改めて感じている。 扉を開けると、寒いからと子どもはすぐに閉めてしまう。 給食は、黙食。淋しいランチタイムです。児童机は小さく、アクリル板は置けません。 音楽の時間は、リコーダーや鍵盤ハーモニカ禁止。歌は、立ち位置などを工夫して。
国公立	小学校	マスクをやめさせること。教員や生徒への無駄な検査をしないこと。普通風邪扱いにする事が早急に必要
国公立	特別支援学校	子どものコミュニケーション力の成長が阻害されています。手を取ることも許されないなんて異常。人を疑えと指導しているようなものです。
国公立	中学校	行事や異学年交流が制限され、子どもたちの活躍の場がなくなった。オンラインも活用しながら交流の場がつかれないものかと考えています。
国公立	中学校	コロナで行事等がなくなり可哀想という意見ばかりマスコミが流すこと。なくなって安心したりゆとりができたりして喜んでる生徒もいるが、そういった意見は採用されない。
国公立	小学校	授業時数の縛りを無くすることや受験機会の複数化などを行い、学校が落ち着いて子どもたち中心に物事を判断して実行できるようにすることが必要。
国公立	中学校	消毒スタッフを入れる、カウンセラーの増員、欠席対応の専門スタッフ、などコロナの為に増えた業務を請け負ってくれる方がいると良い

国公立	高校	主事さんが少ない、庶務、雑務を引き受ける教員補助みたいな人達が絶対に必要。 授業以外でも、分掌等もあり、授業や子供たちのケアに割く時間はどんどん失われていきます。 教員も増やすべき。 各科目に最低限2人以上は必要です。
国公立	高校	発熱しても親から検査を受けるなど言われている生徒が複数います。親は自分が濃厚接触者になって、仕事に行けなくなることを恐れているのです。こうした親は、経済的に苦しい立場に置かれていることが多く、一概に批難できません。このように、感染の拡大は、立場の弱い家庭を直撃します。根本的な対策は感染者数の抑制しかありません。また、学校を無理に開けておくことで、感染リスクを高めることは無益です。
国公立	小学校	将来を担う子供達のことを考えた決断力のあるリーダーや人材を増やしてほしい。 この2年間で失われた経験(行事や授業内容で取り組めていないこと、人との関わりなど)をどうにかできるように試行錯誤しているが、限界がある。 人手が少ないため、教育委員会からも代替教員として入ってきてほしい。
国公立	中学校	オンライン授業か休校が望ましい。
国公立	中学校	重症化している人は、その人の生活習慣、持病、高齢が原因で、生徒がコロナになったらではないことを、政府が呼びかけるべきなのに、文科大臣が、合唱、管楽器の演奏、調理実習は感染の状況によらず控えるべきと誤った、曲解されるような通達を出した これを早急に撤回してほしい
国公立	小学校	関わりが減ったので、学校が楽しいと感じているか心配。洗口液などで対策して、縦割り活動やペア活動をやった方がいい。体育、音楽は制限がある。洗口液で溜いだからコロナ前と変わらずやったらよい。
国公立	小学校	今こそ一斉休校すべき時ではないでしょうか？
国公立	小学校	教員数を増やして児童を少人数のグループにわけろ
国公立	中学校	職員を増やしてほしい。
国公立	高校	とにかく部活動がなくならないため、生徒は部活動時にマスクを外します。いくら授業中のマスク着用や黙食を指導しても部活動があるかぎり何の意味もなくなってしまいます。中高での学校クラスターの原因の一番は部活動における交流練習や大会参加によるものです。学習指導要領における必須の教育活動でもない部活動がコロナ禍に於いても特別扱いされ通常通り実施される意味がわかりません。部活動をなくしてください。
国公立	小学校	とにかく学校内で働く人を増やして欲しい。
国公立	小学校	スーパーでも、自動水栓が当たり前なのに、学校は未設置でお湯も出ない。レバー式の水栓になったが、あまりにもけちくさい。子どもをもっと大事にしてほしい。
国公立	小学校	保護者のケアが、結果的に子どもたちへのケアに繋がります。それと、不要不急の外出を控える中で、子どもたちが家に閉じ込められてストレスをためてしまうことへのケア。
国公立	小学校	オンライン授業をして、登校を控えることが必要。給食が必要な児童のために弁当を配布するなど必要。
国公立	小学校	オンライン対応と実際の授業を同時に行うため、子どもたちの学びが中途半端。休校にして完全オンラインにしてほしい。
国公立	特別支援学校	消毒作業、PCR検査対策それぞれに専門の人員が必要
国公立	特別支援学校	必要に応じた、不織布マスクの配布、最新の信頼できる情報、計画的なワクチン接種
国公立	小学校	クラス人数の多さから、感染の不安がいつもある。また、きめ細やかな対応ができない。

国公立	小学校	マスコミや政治家が余分なことを言うことで、感染対策の業務が増えている。子どもにとっては、我慢させることが多いため、感染対策を撤廃してほしい。
国公立	小学校	休み時間に密になって遊ぶため意味がない。
国公立	特別支援学校	日々忙しい中で、もうこれ以上感染対策のしようがないと思う。それよりも、他の友だちと関わらなかつたり、本校が病院併設のため、制限が多かつたりする。子どもによっては(病院内に居る子どもが通う学校なので)保護者と半年間会えなかつたりする。もっと余裕を持って、その子の気持ちに寄り添えるケアを今しないと、子どもの発育発達に影響を及ぼしかねないと思う。
国公立	特別支援学校	基本的な感染対策は必要だが、過剰な授業内容の制限や行事の規制には疑問があります。子どもの発達を考え、教育の保障は大切です。まずは定期的なPCR検査。そして長期的には少人数学級やスクールバスの増便で、ゆったりとした空間が保てる必要があります。
国公立	中学校	新しいものを増やすのなら、従来からあるものを削らないといけない。時間は有限なのだから
国公立	特別支援学校	行事をなんとか確保したい。
国公立	小学校	自分の勤務校では外遊びを2学年ずつから3学年ずつに増やして対応するなどなんでも規制はしていないが、1年目の運動会は保護者に2学年ずつ見せ、その後子どもたちだけの運動会を行ったが、校長が変わり2年目の運動会は保護者に見せる競技を増やして、その観戦だけで終わり、子どもだけ集まることを見送った。校長の考え方で積み上げたものが否定されるというのが悲しかった。システム上それが可能な法律になっている構造的問題ごここにもあると思う。
私立	高校	教員にすべてを負わせないでほしい。「生徒のために」というマジックワードでこき使われるのはもうたくさんだ。生徒の心のケアは、まず第一に家庭の責務だろう。
国公立	小学校	副担任がいるわけでないので、担任の多忙化により、子どもと向き合う時間もない。教職員を増員し、子どもに寄り添う時間のゆとりが必要。
国公立	小学校	○休み時間に子どもたちがくっついていたりとか、マスクが鼻までずり落ちた状態で話している子がいる。指導して欲しいという電話が保護者からあったようで、今は休み時間にも高学年に低学年がまじって遊ぶのはやめるよう指導しています。ただ、子どもは言ってもすぐにくっついてしまいますし、細かいことを言い出したら、一日中感染対策の注意をしなければならず、実際にはそんなことはできません。
国公立	小学校	言われた通りの従順な子どもたちを育てるのではなく、子どもたち自身にもっと、感染症についての知識・情報を伝えて、感染防止等自主的に考えて行動する力をつけてあげるべき。
国公立	中学校	感染不安があるので、どうしても規制する方が多くなるが、子どもたちがもっと関わり合える授業や休み時間の過ごし方、行事をしてあげたい
国公立	特別支援学校	子どもたちの経験を奪うような提案を簡単にしないでほしい。学校でしかできない経験がある中で、そこが禁止になると、一生経験できない可能性もある。アルコールを使った感染症対策は有効だが、アルコールアレルギーの子どもがいるため、気をつけなければならない。
国公立	中学校	感染対策と心のケアは両立させることは難しい。不安を感じるころは人それぞれなので。
国公立	中学校	コロナ不安での出席停止者が増えている。学校に来ないことで生活習慣が乱れたり、生徒の間で「休んでいる子はずるい、自分も学校サボりたい」という考えが広がっている気がする。生徒の係活動や当番活動の分担が、学校に来ている生徒に偏り、不公平感が生まれている。この状態が続くのは生徒の心理的な状態にも悪影響なのではないかと思う。
国公立	高校	正しい情報の開示。誰も正解がわからないため、過度な感染対策を求められたり、学校の対策が過度であると指摘を受けたりする。感染結果の情報だけでなく、どのような時に、どのように、感染しているのか、今ある情報を正しく分析して、教えてほしい。 100%の線引きがわからなくても、70%や40%など、グレーな線引きなどでもよいので聞きたい。
国公立	小学校	教員を増員し1クラスあたりの人数を減らしてほしい
国公立	小学校	オンラインだとしても、家にいながら友達と繋がれる機会があることはよい。

6-2. オンライン授業について(64)

国公立	高校	生徒の反応が見えないので、今までの授業スキルが役に立たない。授業はとりあえずできますが、この無力感がストレスです。また、「協働的学び」が全くできません。逆に調べ学習はとても効果的です。
国公立	中学校	授業配信は画面の向こうの子どもを想定していないので、見ている子は疲れると思います。専用のチャンネルなどがあればと思います
国公立	高校	オンライン授業を本気でやるなら、授業時数にカウントするとともに、ネット回線の強化、Wi-Fiルーターの貸し出し、高校での1人一台端末の整備などハード面を整備し、各学校に1人SEを配置して下さい。お金をかけて環境整備をしてください。
私立	その他	ネットにつながる端末が2個必要と知ってほしい。 1、授業を見る 2、教材用
国公立	高校	自宅にいる生徒を取り残したくないと思うが、オンラインは授業ではないと思う。国会もオンラインでやってみればわかると思うが、相手が何を考えているか、今まで以上にわかったものではない。子どもには直接のコンタクトがなければ、ただただお茶の間のテレビと同じ。
国公立	小学校	手紙などは各校丸投げではなく、教育委員会が作ってほしい。 タブレットはちゃんとしたものを使わせてほしい 音が聞こえないなどの対応は学校職員には対応できないのに、対応を求めてくる
国公立	小学校	ICT教員を各校に配置。
国公立	小学校	オンライン授業をしようにも、回線の容量不足で3クラス程度しかできないこと
国公立	小学校	タブレットが基本学校置きになっていて、感染者や濃厚接触者の家庭に教師が、配布してまわる。オンライン授業と対面授業の併用は、できない
国公立	小学校	国で、一斉にやってほしい。
国公立	小学校	対応する専門の人が毎日必要。
国公立	高校	ネット環境が全て。
国公立	中学校	個人で作るには時間が足りない
国公立	小学校	板橋区は、2月頭に急にタブレットパソコンが回収になりました。オンライン授業を希望する児童もまだいるのに。その後の対応も何もきていません。あと今年度も1か月ほどです。このまま過ぎてしまいそうで、納得できません。
国公立	小学校	ハイブリッドはやめたい
国公立	中学校	広角カメラが欲しい。 黒板に板書をするが黒板全体を写せないのが困る。身振り手振りで説明する場合もあるが、教師の体と黒板と一緒に写すのが難しい。
国公立	小学校	ネット環境。
国公立	中学校	やろうとしない教員が多すぎる。やればできるのに。
国公立	中学校	4科(実技教科)はオンラインでは補填できません
国公立	小学校	完全オンラインでは、接続が不安定になりますし、対面と並行オンライン(リモート)ではどちらも見なくてはいけないので物理的に不可能
国公立	中学校	できるだけ、やらないほうがいい。
国公立	小学校	日々目まぐるしい忙しく動いている教職員に対し、上から指示するだけの管理職の対応に疲弊している。人員が足りないのに、自分が授業に入ることは拒否。私は主幹なので、管理職のカバーをもっとしろと言われてる。
国公立	小学校	学年で100人以上の児童と双方向の授業になるように、児童の発言を拾っている。体育でストレッチなどを行っているが、スムーズに映像を送れず、固まるなどのアクシデントが起きると、学校に多くの保護者からクレームが届く。こちらも、オンラインのプロではないので困る。
国公立	小学校	オンライン受ける側が 親が面白がって録画して個人情報垂れ流しするのでやめた方がいい。
国公立	小学校	突然入ってきたオンライン授業。通常授業に加割り、負担が大きすぎる。ペネッセのような企業と提携すべき。
国公立	特別支援学校	形式的なオンライン授業なら簡単ですが、学習の定着を目指すならその効果は対面の1パーセント以下でしょうね。特に特別支援学校はそもそも学習時のサポートが必要な子が通っているのに。

国公立	中学校	一斉のオンラインならよいが普通にやりながらのオンライン授業だとやはり、学校に登校している生徒を優先すべきだと思うがなかなかそうならない。
国公立	中学校	感染拡大をいとめるためにも、オンライン授業は必要である。対面授業にこだわらずに、オンラインへの思い切った転換をしていきたいものだ。
国公立	中学校	オンラインはすぐできると考えている保護者の感覚。肖像権や著作権の話をしてもらえない。
国公立	小学校	日常から多忙であるので、新しいことに取り組むことは不可能。備品や動作環境など物理的な問題以上に教職員の負担が大きすぎる問題がある。現状では必要な予算とマンパワーがないなかでやることになるので、進まないのは当たり前。
国公立	中学校	9月に分散登校になって、オンラインとの併用で業務が倍になったのに、なぜ今そのオンラインをしないのか。少なくとも私の中学校は教員同士が助け合いながら工夫をしているので、今こそオンラインにすべきかとおもいます。
国公立	中学校	各家庭の通信環境の事情が違いすぎるため、平等な教育が出来ないことが課題。今年度から生徒に1台タブレット端末が割り当てられたが持ち帰ることが許可されないため、オンライン授業ができない。
国公立	高校	教員側が使える端末が足りていないし、自治体から発行されるアカウントが、発行までに時間がかかりすぎて、途中採用された人は何もできないので、他の先生に課題作って、アンケート式の配信を頼むくらいしかできない
国公立	高校	ハイブリット授業は基本的に多少無理があります(やれと言われればやりますが)。オンライン授業は選択できるようにするのではなく、オンライン授業一本で行うべきものだと思います。
国公立	小学校	行政など教育委員会が現場に入ってほしい。書類作成や調査など、時代に合わない無駄な業務を下ろすだけでなく、授業動画や課題作成などしてほしい。→オンライン授業を一人一人の教員がする必要は無いと思う。また人手がいなければ代替として入ってほしい。→現場ばかりに任せないで現場に入って 予算をつけてほしい。校内で必要な備品を揃えたい。自治体により差がある。
国公立	中学校	準備が必要なので、空き時間がほしい 一つの授業に対して、25分は確保したい
国公立	小学校	毎日誰かに見られているようでストレスが溜まる。きっとオンライン授業受けている子どもの横で親がいるのかと考えたら、子どもへの対応についてもかなり気をつかう。
国公立	小学校	子ども同士の関わりが保障できない(教え合い、他の子の発言などからの気付き)
国公立	小学校	50代教員が多く、PCの設定やタブレット端末を使う授業、オンライン授業についていけない。研修がかなり必要。
国公立	中学校	オンライン授業と一斉授業を同時に行うことはほぼ不可能。教育委員会がオンライン授業用の動画を作るなどしてサポートしてほしい
国公立	高校	カメラ、Wi-Fi、マイクが使えるPCを標準で教員用に貸与してほしい。岩手県はMicrosoftにベッタリでZOOMを配信用に使うことができません。Microsoft Teamsを使えの一点張りです。その辺りも何か利益供与があったのではないかと気になります。
国公立	小学校	国語、算数、理科など地域によって学習内容が左右されないものは文科省が一括して、授業動画を作り(教科書会社へ委託)それを配信すればよいのではないか。
国公立	小学校	オンラインは授業とは言えない。学校は学習活動を通して人と人との関わりや、感じかたの多様性を学ぶ場です。
国公立	小学校	個々の児童とのやり取り。時間配分。
国公立	小学校	教員が自宅待機となってもできるようにしてほしい。
国公立	小学校	便利だが、児童が家で集中できる環境作りをするのは保護者の責任のため、家庭の教育力で差が出る
国公立	特別支援学校	特別支援学校のオンラインは児童生徒の実態から難しい。
国公立	特別支援学校	私の勤務校ではないですが、オンライン授業を進めるなら、すべての希望する子どもたちにオンライン授業が実施できる環境を整えるべき。

国公立	小学校	感染のリスクは減るし、一斉に授業できるし、クラスの友達同士がやり取りもできるが、それが得意な子ばかりではなく、苦痛になる子もいる。 また、子どもたちは自由自在に端末を使いこなせるが、教職員の方が操作に手間取ることが多い。
国公立	小学校	低学年は、親の協力がないと、オンライン授業は不可能です。
国公立	特別支援学校	特別支援学校では子ども自身でタブレットやパソコンに接続できず、保護者の協力なしにはできない。またデイサービスに行く子が多く、朝からそこに行く子にはオンラインでの授業は無理である。
国公立	特別支援学校	知的障害の特別支援学校では、子どもたちがタブレットを壊さず使用することが難しいため、家庭にタブレットを持ち帰らせることはそもそも難しいです。ホームページで動画を配信することが精一杯です。
国公立	中学校	まずは、学活だけにして、教員と生徒がオンラインでつながれる環境が馴染んでから、教科の授業をするべき。教科の授業は、準備も責任も多いので、いきなりは心理的に難しい。
国公立	特別支援学校	Wi-Fi環境がない家庭があったらやるべきでない。
国公立	小学校	オンライン授業はもう当たり前で困難に感じていない。困難前提の質問がナンセンス。だからICT活用時代に支持が広がらないと思う。ただ、推進してきた教育長には問題点ありすぎて議会で糾弾されない事にも不満です。市教組の追及ポイントもこの吉良議員アンケートも前提が現実在即してないために暴走を許していると思います。
私立	高校	対面授業をしながら、欠席者へのフォローとしてのオンライン授業をするのが最も負担が大きいので、オンラインなら全部オンライン、対面なら全部対面と、どちらかにしてほしい。
国公立	小学校	最初から少人数学級にしておけば、オンライン授業にしなくても授業中の感染対策はとれるので、1学級の人数を大幅に減らしてほしい。
国公立	小学校	授業準備ができるための教員数増員等の環境整備・労働改善
国公立	特別支援学校	特別支援学校でのオンライン授業は、保護者の協力がないと無理 オンデマンド型になると、正直やる意味あるのかとも思う やってる風だけでいいならそれでも良いかもしれないが、 オンライン授業をしても出席カウントしないとなっているが、成績はどうつけるのか
国公立	中学校	教室にいる子供とオンラインの子供と同時に見とることは不可能。オンラインのほうは、映像を流すだけになってしまう。生徒用タブレットは画面が小さく、姿勢が大変という訴えがある。各クラスに1人ずつ支援の人がつけばいい。
国公立	中学校	授業のオンライン配信と登校を両立させる状態を継続させたくない。どちらかに統一したほうが業務量も、生徒への情報共有も平等にできる。
国公立	小学校	学校内にWi-Fiが整備されていない教室がある。有線LANはあるがオンライン授業が可能なタブレット端末にセキュリティ上の理由から繋ぐことができない。
国公立	小学校	概ね良い。デジタル教科書を画面共有できることが便利。急な休みになって、学校に学習用具が置きっぱなしだった子も、授業に参加できる。
国公立	小学校	これから先、学級閉鎖の場合は、オンライン授業をしなければならないのか。今のところ閉鎖中は授業時数にカウントされない。授業時数でがんじがらめにされているのに納得できない。
国公立	中学校	授業のオンライン配信と登校を両立させる状態を継続させたくない。どちらかに統一したほうが業務量も、生徒への情報共有も平等にできる。
国公立	小学校	学校内にWi-Fiが整備されていない教室がある。有線LANはあるがオンライン授業が可能なタブレット端末にセキュリティ上の理由から繋ぐことができない。
国公立	小学校	概ね良い。デジタル教科書を画面共有できることが便利。急な休みになって、学校に学習用具が置きっぱなしだった子も、授業に参加できる。
国公立	小学校	これから先、学級閉鎖の場合は、オンライン授業をしなければならないのか。今のところ閉鎖中は授業時数にカウントされない。授業時数でがんじがらめにされているのに納得できない。